

# 平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業名	地球温暖化対策実行計画推進事業			会計	款	項目	大	小
				01	04	01	04	05
政策	02	2節	生活の豊かさを実感できる流山（生活環境の整備）	主管課	環境政策課			
施策	2-1	豊かで美しい生活環境の創造		主管課長	大島 尚文			

## I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	市民及び市職員	意図	計画に基づき温室効果ガスの削減を図ることで、地球温暖化の防止に寄与する。
事業内容	地球温暖化対策実行計画に基づいて、市域全体の二酸化炭素排出量を削減するため、公用自転車の普及促進、環境家計簿コンテスト（節電チャレンジ）等を実施する。			
事業開始から現在までの状況変化	平成18年3月に地域温暖化対策地域推進計画を策定、平成22年3月に第2期計画となる地球温暖化対策実行計画を策定した。その後、第3期計画となる計画のうち、事務事業編を平成28年3月に改定し、区域施策編については平成29年3月に改定を行った。			

## II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
		①	公用自転車の導入台数	14	14	14	
②	環境家計簿コンテスト結果（節電チャレンジ）	180	117	143	世帯	→→	
③							
④							
⑤							
⑥							

  

指標で表すことができない定性的な成果				目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）
事務事業のコスト	平成28年度	平成29年度	平成30年度	「ながれやま節電チャレンジ」を夏期・冬期の2回実施し、電力使用量前年比10%以上（冬期は5%以上）の節電（継続的に節電に取り組む市民に関しては1%）を行った世帯に流山共通ポイントカード「ながぼんポイント」500ポイントを贈呈した。夏期は32世帯、冬期は111世帯の応募があった。また平成29年度には、全般的に老朽化した公用自転車について環境省の二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金を活用し新規5台を導入した。
事務事業の総コスト(a=b+c)	4,406,105	4,316,263	4,265,035	
事業費(b)(円)	287,105	289,063	309,835	
うち一般財源	287,105	244,063	309,835	
職員給与費(c)(円)	4,119,000	4,027,200	3,955,200	
人役・職員(人)	0.60	0.60	0.60	
人役・再任用(人)				
人役・臨職(人)				
人役・嘱託(人)				
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）				
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）				

## III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

### (1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	B 市が担うとともに、市民協働を進めるべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	III 要改善（事業は継続するが、更なる改善が必要）					

### (2) 事務事業の業務改善について

①H30当初の改善計画(Plan)	各種温暖化対策事業について、より多くの市民に取り組んでもらえるように啓発方法や内容について改善を行う。	③取組における課題(Check)	節電チャレンジについては、参加しやすくし、申請者が増えるような副賞や仕組みについて改善が必要である。
②H30に実施した取組(Do)	ながれやま節電チャレンジについて、奨励金等の利用者や小学校へ周知を行った。また、抽選での副賞を新たに設定した。	④課題に対する今後(H31~)の改善計画(Action)	記念品の検討と制度の改善。